

株主の 皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平成12年度の営業の概況をご報告申し上げます。

当期のわが国経済は、政府の経済対策などにもかかわらず、個人消費は伸び悩み、デフレが懸念されるなど、依然厳しい状況のまま推移しました。

このような中で、当社は、引き続き各部門において積極的な営業活動を行うとともに、経営の効率化に取り組んだ結果、当期の営業収益は1,514億8千5百万円(前期比0.5%増)、経常利益は68億4千4百万円(前期比135.9%増)、当期利益は33億2千万円(前期比0.2%増)となりました。

なお、会計基準の変更に伴い、退職給付債務の積立不足額について一括償却を行い、株式の一部拠出による退職給付信託を設定するなど、経営体質の強化を図りました。

当期の利益配当金につきましては、従来と同額の1株につき2円50銭と決定いたしましたので、あわせてご報告いたします。

また、当社グループの連結決算では、営業収益は3,184億8千1百万円(前期比4.0%増)、経常利益は98億2千4百万円(前期比110.1%増)、当期純利益は44億9千2百万円(前期比95.5%増)となりました。

目次

株主の皆様へ	1~2
特集/空港線と京急蒲田駅付近高架化	3~6
グループピックス	7~10
連結財務諸表	11~14
京浜急行電鉄(株) 財務諸表	15~17
会社概要	18
株主優待制度	19~20
沿線案内	21~22
株価、出来高の推移、株主メモ	23

当社は、「都市生活を支える事業を通して、新しい価値を創造し、社会の発展に貢献する」ことを経営理念として、鉄道、自動車事業を中心に、不動産、ホテル、レジャー、流通などの事業をグループ各社とともに展開しております。これらの事業を通して、良質な商品とサービスを提供し、地域社会に貢献することにより、企業価値の最大化を目指してまいります。

今後とも規制緩和や少子高齢化などによる経営環境の急激な変化に備えて、グループ内での事業の見直しや再編成を進め、特にアウトソーシング、分社化による経営の効率化、IT(情報技術)の活用などによる新しいビジネスチャンスに取り組むとともに、収益力の強化に努めてまいります。さらに、経営資源の集中を進め、人事面、資金面、営業面などにおけるグループの一体化を図り、連結決算時代に即応した効率的なグループ経営に取り組んでまいります。また、環境対策などの社会的課題につきましても、積極的に貢献してまいります。

株主の皆様には、一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成13年6月

取締役社長

小谷 昌





高架化後の京急蒲田駅イメージ

特集

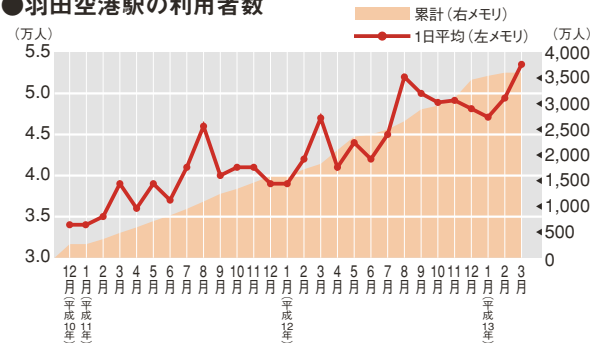
空港線と 京急蒲田駅付近 高架化

羽田空港駅

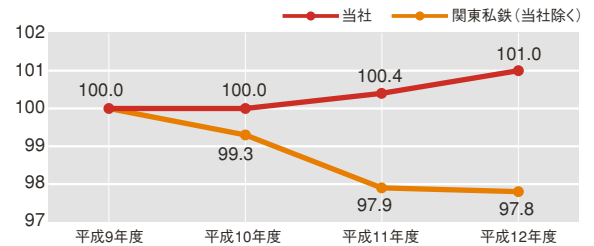
平成10年11月に開業した羽田空港駅は、平成13年3月末日までに計3,700万人のお客さまにご利用いただきました。全国の鉄道が輸送人員の減少に苦しんでいる中、当社の輸送人員は羽田空港駅のご利用者数の増加もあり、順調に推移しております。

このたび、東京都の都市計画事業として実施される京急蒲田駅付近連続立体交差事業にあわせて、本線と空港線の接続駅である京急蒲田駅を改良し、航空旅客需要の高まる羽田空港へのアクセスを強化します。

●羽田空港駅の利用者数



●輸送人員の推移(全線) [平成9年度を100とする。]



●羽田空港アクセスの強化

現在、羽田空港への列車は、都心(品川)方面からは終日ほぼ10分間隔で運転しておりますが、京急蒲田駅の構造上、横浜方面からの直通運転は列車本数の少ない早朝等に限られております。

この改良工事により京急蒲田駅が生まれ変わると、都心(品川)方面からの直通列車をより充実できるほか、横浜方面からの直通運転も終日可能となり、羽田空港アクセスが格段に向上します。

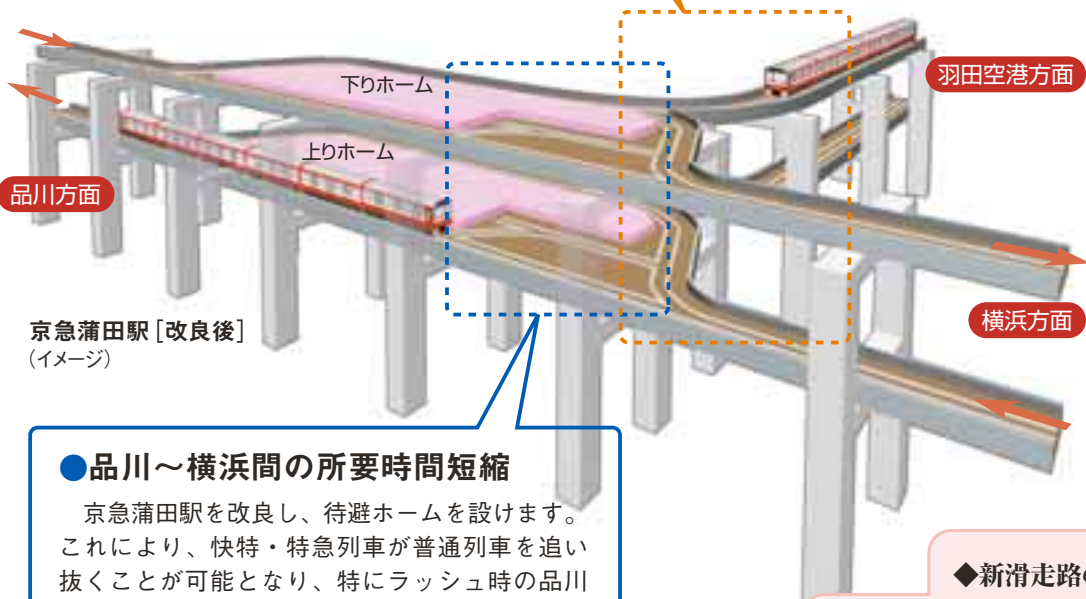


空港線 第1踏切道(国道15号線)

交通の円滑化と地域の発展

京急蒲田駅付近では、国道15号線(第1京浜)や環状8号線など主要幹線道路のほか、生活道路と交差する踏切が28か所あります。連続立体交差事業により踏切が廃止されると、安全性が向上するばかりでなく、道路渋滞が解消され、大きな経済利益を生み出すことにつながります。また、CO₂の削減など環境問題の改善に大きく寄与します。

また、この事業にあわせ、大田区による駅前地区の整備事業が行われ、地域の発展が期待されます。



京急蒲田駅 [改良後]
(イメージ)

●品川～横浜間の所要時間短縮

京急蒲田駅を改良し、待避ホームを設けます。これにより、快特・特急列車が普通列車を追い抜くことが可能となり、特にラッシュ時の品川～横浜間の所要時間が短縮されます。

京急蒲田駅 [改良前]
(イメージ)



◆新滑走路の増設と再国際化の計画

現在、国などで新滑走路を増設する羽田空港の再拡張と再国際化の検討がすすめられています。これが実現すると航空機の発着回数が増加し、さらなる航空旅客の増加が見込まれます。

特に再国際化については、平成13年2月16日から国際チャーター便の運行が始まりました。今回のチャーター便は、24時間離発着可能な羽田空港の利点を生かし、夜11時から朝6時までの時間帯を有効利用したものです。将来期待される羽田空港の再国際化への第一歩として、各方面から注目を集めています。

グループトピックス

〈平成12年4月1日から平成13年3月31日まで〉

京急グループは、当社を中心に71社で構成し、交通、不動産、レジャー・サービス、流通など様々な事業を通して、沿線を中心に、良質な商品とサービスを提供しております。

iモードによる
サービス開始

交通部門

◆鉄道事業

当社は、関東地区の鉄道共通カードシステム「パスネット」を導入したほか、iモード対応携帯電話を使用した通勤定期券の予約発売サービスを開始しました。

また、IT時代に対応して、ほぼ全線にわたる鉄道敷地に光ケーブル網を敷設し、一部を通信事業者に賃貸しました。

なお、施設保守業務の一部をグループ会社へ委託し、効率化を図りました。

◆自動車事業

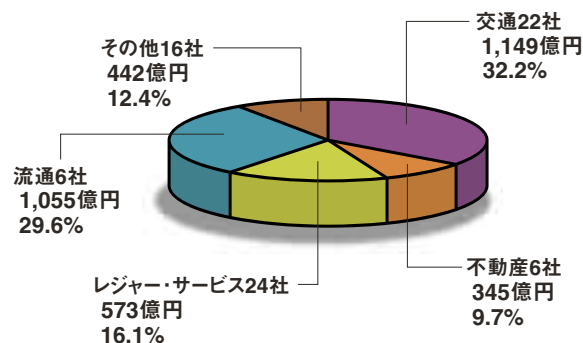
前期に続いて、当社は、京急バス(株)に大森駅～羽田空港線など6路線を移管したほか、12月には、横浜京

急バス(株)と横須賀京急バス(株)を設立し、本年6月に当社から一部路線を移管し、規制緩和などによる競争の激化に対処しております。

京急バス(株) 大森駅～羽田空港線



●セグメント別(部門別)売上高の構成比



(注) 1. セグメント間の内部取引高を含めた数値を記載しております。
2. 各部門の会社数には、重複する会社を含みます。
3. 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

不動産部門

◆不動産販売事業

京急不動産(株)は、京急ニュータウン富岡10期、京急ニュータウン金沢能見台5丁目「光の街」、京急湘南山手など分譲住宅の販売を行ったほか、東京都府中市において共同事業「エルフォレスト」を推進しました。

◆不動産賃貸事業

当社は、ベンチャー企業や国内外の大学の研究室などが入居するYRPベンチャー棟、富士通(株)に全館賃貸するYRP5番館や青物横丁駅ビルの建設工事に着手しました。

YRP5番館



レジャー・サービス部門

◆ホテル・旅館事業

ホテルパシフィック東京は、顧客サービスの向上策の一環として、ISO9001の認証を取得しました。また、ホテル グランパシフィック メリディアンとともに、各種宿泊プランの販売やインターネットによる宿泊予約の受付など、営業の強化に努めました。

◆レジャー事業

長野京急カントリークラブの利用客が大幅に増加したほか、(株)市原京急カントリークラブにおいても、地元の法人などへ積極的に営業を行い、増収に努めました。

また、(株)京急油壺マリンパークでは、他社との共同で、海洋深層水の取水、脱塩および販売などを行う新会社を設立しました。



海洋深層水 取水システムイメージ

流通部門

◆百貨店事業

(株)京急百貨店は、顧客ニーズに対応した品揃えなどに努め、本年3月現在、前年同月比で41か月連続で売上増を続けております。



ハートフルデパート 京急百貨店

◆ストア事業

(株)京急ストアは、大鳥居での新規出店や営業時間の延長などにより増収に努めたほか、上大岡での新規出店の準備を進めております。

その他部門

京急サービス(株)では、「京急ライフサポート」により介護サービスに参入し、井土ヶ谷駅構内に保育園を開園するなど、新規分野の介護、保育サービスについても積極的に営業展開しました。



井土ヶ谷駅 京急キッズランド

記載金額は単位未満を切り捨てて表示

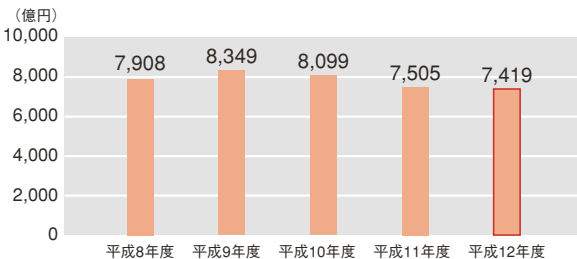
●連結貸借対照表(要旨)

平成13年3月31日現在

(単位:億円)

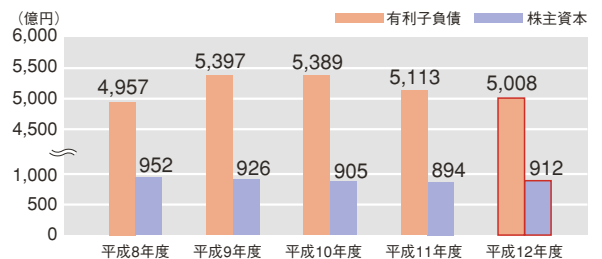
科目	金額
資産の部	
流動資産	1,612
現金及び預金	231
受取手形及び売掛金	222
有価証券	91
たな卸資産	990
その他	77
固定資産	5,802
有形固定資産	5,191
建物及び構築物	2,919
機械装置及び運搬具	448
土地	1,326
建設仮勘定	401
その他	94
無形固定資産	47
投資その他の資産	564
投資有価証券	248
その他	315
繰延資産	4
開業費	4
資産合計	7,419

●総資産の推移(連結)



科目	金額
負債の部	
流動負債	2,423
支払手形及び買掛金	375
短期借入金	927
1年以内償還社債	299
前受金	192
コマーシャル・ペーパー	250
その他	378
固定負債	4,025
社債	1,440
長期借入金	2,090
退職給付引当金	183
その他	310
負債合計	6,449
少数株主持分	
少数株主持分	57
資本の部	
資本金	319
資本準備金	296
連結剰余金	306
計	922
自己株式	△-
連結子会社の所有する親会社株式	△9
資本合計	912
負債、少数株主持分及び資本合計	7,419

●有利子負債残高・株主資本の推移(連結)



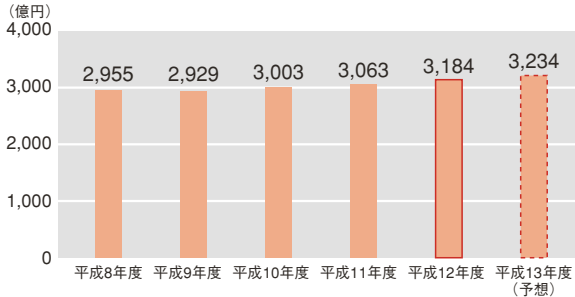
●連結損益計算書(要旨)

平成12年4月1日から平成13年3月31日まで

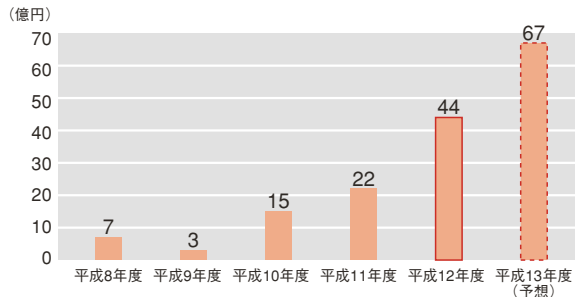
(単位:億円)

科目	金額
営業収益	3,184
営業費	2,957
営業利益	226
営業外収益	26
営業外費用	155
経常利益	98
特別利益	346
特別損失	362
税金等調整前当期純利益	81
法人税、住民税及び事業税	52
法人税等調整額	△14
少数株主利益	△2
当期純利益	44

●営業収益の推移(連結)



●当期純利益の推移(連結)



予想数値は、現時点の事業環境における予測に基づき算出したものであります。
今後の経営環境の変化等により、実際の業績が変わる可能性があります。

●連結剰余金計算書(要旨)

平成12年4月1日から平成13年3月31日まで

(単位:億円)

科目	金額
連結剰余金期首残高	287
連結剰余金減少高	26
配当金	25
役員賞与	1
当期純利益	44
連結剰余金期末残高	306

●連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

平成12年4月1日から平成13年3月31日まで

(単位:億円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	355
投資活動によるキャッシュ・フロー	△164
財務活動によるキャッシュ・フロー	△130
現金及び現金同等物の期末残高	286

●セグメント別(部門別)営業収益

平成12年4月1日から平成13年3月31日まで

(単位:億円)

科目	金額
交通部門	1,149
不動産部門	345
レジャー・サービス部門	573
流通部門	1,055
その他部門	442
計	3,566
セグメント間の内部取引高	△381
営業収益計	3,184

●貸借対照表(要旨)

平成13年3月31日現在

		(単位:億円)	
科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	1,158	流動負債	2,047
現金預金	79	短期借入金	870
未収金	51	1年以内償還社債	299
有価証券	85	未払金	186
分譲土地建物	862	前受金	158
その他	80	コマ-シャル・ペーパー	250
貸倒引当金	△-	その他	282
固定資産	5,543	固定負債	3,853
鉄道事業固定資産	2,503	社債	1,440
自動車事業固定資産	90	長期借入金	2,061
付帯事業固定資産	1,396	退職給付引当金	111
各事業関連固定資産	64	その他	240
建設仮勘定	397	負債合計	5,901
投資等	1,090	資本の部	
子会社株式	282	資本金	319
投資有価証券	194	法定準備金	361
長期貸付金	479	剰余金	118
その他	243	(うち当期利益)	(33)
貸倒引当金	△108	資本合計	800
資産合計	6,701	負債・資本合計	6,701

●損益計算書(要旨)

平成12年4月1日から平成13年3月31日まで

		(単位:億円)	
科目	金額	科目	金額
経常損益の部			
鉄道事業			
営業収益	721		
営業費	578		
営業利益	143		
自動車事業			
営業収益	206		
営業費	202		
営業利益	4		
付帯事業			
営業収益	587		
営業費	551		
営業利益	36		
全事業営業利益	183		
営業外収益	25		
営業外費用	140		
経常利益	68		
特別損益の部			
特別利益	323		
特別損失	334		
税引前当期利益	57		
法人税、住民税及び事業税	32		
法人税等調整額	△7		
当期利益	33		
前期繰越利益	79		
中間配当額	12		
利益準備金積立額	1		
当期末処分利益	98		

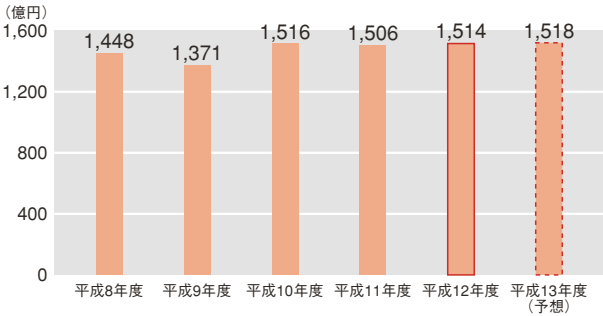
●利益処分

(単位:百万円)

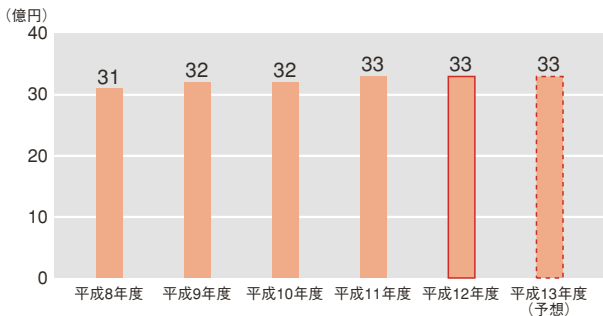
科目	金額
当期末処分利益	9,827
利益処分類	1,495
利益準備金	136
配当金(1株につき2円50銭)	1,281
役員賞与金	77
取締役賞与金	67
監査役賞与金	9
次期繰越利益	8,332

平成12年12月12日、1,281百万円(1株につき2円50銭)の中間配当を実施しました。

●営業収益の推移(京浜急行電鉄(株))



●当期利益の推移(京浜急行電鉄(株))



予想数値は、現時点の事業環境における予測に基づき算出したものであります。
今後の経営環境の変化等により、実際の業績が変わる可能性があります。

会社概要

平成13年3月31日現在

商号 京浜急行電鉄株式会社(証券コード 9006)

本社所在地 〒108-8625
東京都港区高輪2丁目20番20号

設立 昭和23年6月1日
前身の大師電気鉄道(株)の設立日
明治31年2月25日

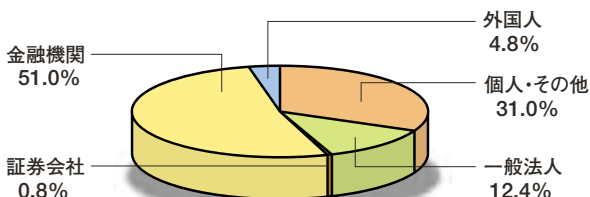
従業員数 3,984名

役員

取締役会長 (代表取締役)	平松 一郎	取締役	伊藤 助成
取締役社長 (代表取締役)	小谷 昌	取締役	石川 洌
専務取締役	中根 啓介	取締役	大谷 一彦
専務取締役	齋藤 行正	取締役	井上徹太郎
専務取締役	沖野 勝	取締役	神田 捷夫
常務取締役	片桐 為義	取締役	後関 孝之
常務取締役	久保 賢爾	取締役	佐藤 昌弘
常務取締役	石井 信邦	常勤監査役	田沢 一心
常務取締役	石渡 恒夫	常勤監査役	池田 裕夫
		監査役	佐藤 道夫
		監査役	越野 誠

株式の状況

1. 資本金 31,998,751,074円
2. 株式数 512,775,335株
(会社が発行する株式の総数1,800,000,000株)
3. 株主数 27,327名(前期末比471名減)
4. 株式分布状況



株主優待制度

ますます便利に！
バスまで優待！



無料きっぷでバスにもご乗車いただけるようになりました。
バスまで乗れる無料きっぷは、関東大手私鉄で京急だけ。
株主の皆様を第一に考える京急ならではのサービスです。

年2回

ご所有株式数 5千株以上で

優待乗車証

ご所有株式数	優待内容(6か月につき)	
5千株 以上 1万株 未満	電車・バス全線 無料きっぷ (1枚1乗車有効)	15枚
1万株 以上 2万株 未満		30枚
2万株 以上 3万株 未満		60枚
3万株 以上 4万5千株 未満	電車全線バス	1枚
4万5千株 以上 6万株 未満	電車またはバス 全線バス	1枚
6万株 以上	電車・バス 共通全線バス	1枚

- 電車・バス全線無料きっぷは、1枚につき、電車またはバスのどちらか1回ご乗車いただけますが、バスのご利用は一般路線のみとなり、空港への直通バス、高速バス、深夜急行バス、定期観光バスにはご乗車いただけません。
- ご家族の皆様でお使いいただけます。(1枚につきお1人様のご優待です。)

年2回

ご所有株式数 1千株以上で

グループ施設優待割引券

京急ホテルグループ/宿泊20%～50%割引

京急ストア/お買物100円割引

京急百貨店/お買物5%割引

京急ハウズ/お買物5%割引

京急観光/パック旅行3%～5%割引

平和島クアハウス/利用料割引

京急油壺マリンパーク/入場料50%割引

- その他、多彩な優待割引をご用意しております。
- 内容は変更する場合があります。

株主優待の確定日と有効期間

優待乗車証

	送付時期	有効期間
3月31日現在の株主	5月末	6月～11月
9月30日現在の株主	11月末	12月～翌年5月

グループ施設優待割引券

	送付時期	有効期間
3月31日現在の株主	6月末	到着後～12月
9月30日現在の株主	12月	到着後～翌年6月

お問い合わせ

京浜急行電鉄株式会社 総務部文書課(株式IR担当)



0120-791-237

(平日 10:00～17:00)

古都

鎌倉さんぽ

沿線案内

見どころピックアップ



京急線からバスで足をのばせば、鎌倉は意外に身近な散歩道。今回は鎌倉の街周辺の見どころを選びすぐにご紹介します。優待きっぷを同伴に、風情たっぷりの古都散策へ出かけましょう。

覚園寺

1296年に北条貞時が薬師堂をもとに開山したのが始まり。寺僧が境内の各堂を案内してくれますが、拝観時間が決められているのでご注意ください。

- 拝観時間/10時、11時、12時(休日のみ)、13時、14時、15時からの6回
- 拝観料/大人300円、こども200円



鎌倉宮

大塔宮護良親王を祀り、明治天皇の勅命によって創建。境内は自然にあふれ、四季折々の花に包まれます。



荏柄天神社

1104年に建てられたと伝わる社殿に祀られているのは、学問の神様・菅原道真。日本三天神のひとつに数えられる、由緒ある神社です。



源頼朝の墓

かつて頼朝の持仏堂があったとされる場所。木々に囲まれて立つ墓の層塔は1779年にここに移動されたといわれ、国の史跡に指定されています。



鶴岡八幡宮

鎌倉幕府の宗祀の首座とされた大社で、現在の上下両宮の配置になったのは1191年。広い参道や境内は、いつも多くの参拝者でにぎわっています。

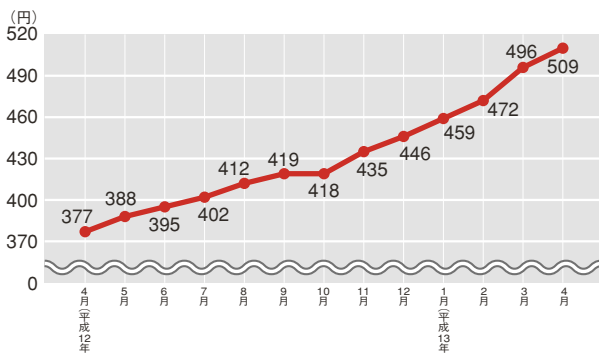


ちよっとより道 小町通り

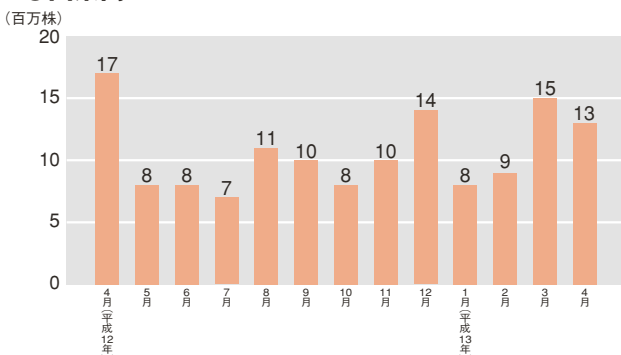
伝統的なみやげ物店のぞいたり、お食事や喫茶を楽しんだり。ぶらり歩けば、のんびりした時間が過ごせそう。



●株価（終値平均）



●出来高



株主メモ

決算期日	3月31日
定時株主総会	6月
配当金受領株主確定日	利益配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
公告掲載紙	日本経済新聞
名義書換代理人	中央三井信託銀行株式会社

当社株式に関するお問い合わせ先

■中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
〒153-8602 東京都目黒区下目黒6丁目1番21号
電話 (03) 3714-2211 (大代表)

■京浜急行電鉄株式会社 総務部文書課 (株式IR担当)
〒108-8625 東京都港区高輪2丁目20番20号
0120-791-237



羽田空港へのアクセス情報や運賃など内容充実

京急ホームページ
<http://www.keikyuu.co.jp>

京急グループのお得な情報を満載

KeikyuuNagisa
<http://www.keikyunagisa.com>



古紙配合率100%再生紙を使用しています

新しい出会いに夢のせて

